

令和8年3月1日

# 育成だより 第118号



【発行】大刀洗町青少年育成町民会議 TEL 77-2670 FAX 77-2760

【編集】大刀洗町青少年育成町民会議広報委員会

## 大刀洗教育の日「少年の主張大会」

令和7年11月8日(土) 大刀洗ドリームセンター ドリームホール

### プレゼンテーション方式で発表



今年度は町内4小学校から3名1組、中学校からは各学年1名、計15名が発表。

①「地域との関わりを通した学び」②「平和学習を通した学び」等からテーマを選択し学校で身に付けているプレゼンテーション能力を発揮。自分たちの学びや思いを主張しました。



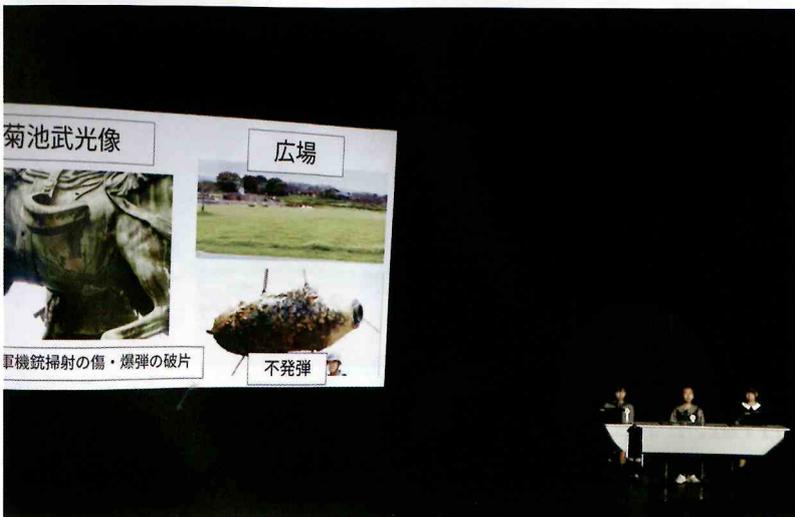
フィールドワークで学んだ平和の尊さ  
 く知ったからには、学んだからにはく

大刀洗小学校  
 六年 後藤 糸央莉  
 高橋 七実  
 古賀 凪



大刀洗小学校は、長崎での修学旅行や大刀洗空襲の学習で戦争遺構を巡るフィールドワークを行いました。

私達は、もう二度と戦争を繰り返さないことや平和の大切さを未来へ伝えることを主張しました。

「戦後八十年」を生きる  
 私たちにできること

菊池小学校  
 六年 池田 佳菜子  
 後藤 夢結  
 中西 寧子



「大堰野菜のみりよく」  
〜おいしさのヒミツを求めて〜

大堰小学校

五年 中村 太一  
五年 大場 祐真  
六年 野瀬 杏寿



『大洗おいしかあ〜便』を知っていますか？その中身は新鮮な大堰野菜！ふるさと納税の返礼品の一つにもなっていて、全国に届けられています。この大堰野菜の生産や販売・PRに関わっている方への取材や体験活動を通して見つけたおいしさのひみつ（工夫や努力、思い）と、自分たちが考えたことを伝えました。



「努力は必ず結果になる」

大洗中学校

一年 松竹 航希

空手の大会に向けて努力を重ねるも、試合が近づくとつれて恐怖と不安で押しつぶされるようになる私。師範や友達の一言で格上の相手に対しても全力でぶつかることができるようになったことで銅メダル獲得につながりました。

# 講評

大刀洗町教育長

柴田 晃次

## 地域とともに育む「町を育てる学力」

本年度11月8日～9日に大刀洗町ドリームまつりが開催され、8日には「大刀洗町教育の日 少年の主張大会」を大刀洗町ドリームホールで行いました。町内の4つの小学校と1つの中学校から、児童生徒の皆さんが日頃の学びの成果を堂々と発表しました。これまでの主張発表とは異なり、本年度は、平和学習やコミュニティスクールの取組などをテーマに、プレゼンテーションソフトを活用しての発表に挑戦しました。小学生は3人で、中学生は1人で、学習や日頃考えていることを写真や資料を提示しながら、聞いている人に分かりやすく伝えるよう工夫しました。子ども達が将来を生きる上で、求められる力に情報活用能力やプレゼン能力があります。今回、WiFi接続の課題はありましたが、どの発表も、地域とのつながりや平和への思い、自分自身の成長に真摯に向き合ったものであり、聴く者の心を打つ素晴らしい内容でした。新たな挑戦に感

謝いたします。

以下、各学校の発表について、良かった点や感想を述べたいと思います。

まず、大刀洗小学校の「フィールドワークで学んだ平和の尊さ」知ったからには、学んだからには」は、長崎での修学旅行や大刀洗空襲の戦争遺構を巡るフィールドワークでの学習についての発表でした。学習を通して、歴史と向き合い、平和の意味を自分ごととして受け止めたことが伝わってきました。単に事実を学ぶだけでなく、「知ったからには伝える」「行動に移す」という責任感が言葉の端々に表れており、未来を担う子どもたちの覚悟を感じました。

菊池小学校の「戦後80年」を生きる私たちにできること」は、大刀洗空襲についてのフィールドワークを通して学んだことの発表で通して学んだことの発表でした。自分たちは、今をどう生き、何を伝えていくべきかを真剣に考える姿が印象的でした。平和は当たり前ではなく、戦後復興に向けた人々の努力の上に成り立っていること、自分た

ちにできることを自らの言葉で語る姿に、大人も改めて学ばされました。

本郷小学校の「みんなでつくるうすマイルタウン」は、コロナ禍でスタートした学校生活の中、地域の人々との関わりを通して学んだ思いやりや協力の大切さを伝える発表でした。地域の課題を自分たちの視点で捉え、より良い町づくりについて何ができるかを主体的に考える姿勢は、まさに「ふるさとを愛する心」の育成に直結するものでした。

大堰小学校の「大堰野菜のみりよく」おいしさのヒミツを求めて」は、ふるさと納税の返礼品である「大刀洗おいしかあく便」に着目した発表でした。農家の方々や販売・PRに携わる方々への取材を通じて、野菜づくりの魅力や農家の皆さんの思いを学び、それを丁寧で紹介しました。地域の産業を学ぶことは、郷土への誇りを育む第一歩です。子どもたちが地域の魅力を再発見し、それを発信する力を身につけていることに、将来発展の大きな可能性を感じました。



# 大刀洗校区夏祭り

大刀洗校区民会議  
田中 翔

令和七年七月二十六日(土)、大刀洗校区夏祭りが盛大に開催されました。当日は好天にも恵まれ、夕方から多くの地域の方々や子どもたちが会場を訪れ、夏のひとときを楽しみました。

会場には、ヨーヨー釣り、めだかすくい、おもちゃすくい、射的、くじ引き、ポップコーン、綿菓子など、子どもから大人まで楽しめる多彩な模擬店が並び、どのブースも笑顔と歓声に包まれていました。

これらの模擬店は、南部コミ青少年育成部会と青少年育成大刀洗校区民会議が協力し、テント三張りを使用して、子どもたちが楽しめる内容を工夫しながら運営したものです。

特に子どもたちは、友だち同士で声を掛け合いながら遊ぶ姿が多く見られ、地域ならではの温かな交流の場となりました。

また、メインステージではビンゴ大会などの催しが行われ、番号が読み上げられるたびに会場は大きな盛り上がりを見せました。

世代を超えて一体感が生まれ、地域のつながりを改めて感じる機会となりました。

本夏祭りは、関係者の皆さまのご協力により無事開催され、子どもたちの健全育成と地域交流の大切さを再確認する有意義な行事となりました。

十二月十三日(土)予定されていたもちつき大会はインフルエンザ流行のため中止となりました。



# 歩け歩け大会で元気にウォーク

菊池校区民会議  
近藤和廣 三原敏裕

菊池校区では、今年度も十一月二十九日(土)に「歩け歩け大会」、一月二十四日(土)に「ポッチャ大会」の二つのイベントを開催しました。

歩け歩け大会は、小学生を中心に保護者や役員など百三十三名が参加。当日は雲一つ無い絶好のウォーキング日和でした。午前十時に菊池小学校を出発。筑前町多目的運動公園に向けて、約4キロメートルを元気に歩き午前十一時に到着しました。

昼食までは自由時間で、子どもたちは運動公園の遊具で遊んでいました。昼食タイムは、お弁当を頬張りながら、おしゃべりに夢中になる子も。昼食後のレクリエーションとして、ドッジボール大会を実施。校区内の山隈、北山隈、西大刀洗、北鶴木に分かれての試合で、五分間の勝負です。ボールが飛び交うコートは、熱気に包まれていました。試合の結果、西大刀洗チームが優勝しました。

帰りは菊池小学校に向けて、同じコースをたどりました。まだ小さい子を上級生の児童が励ましたり、手助けしたりして全員が午後四時ごろに小学校へ戻りました。

菊池小学校体育館で行ったポッチャ大会では、真剣な表情で目標に向けてボールを投げ合う姿が印象的でした。



親子を楽しむ!

# まなビー講座

『家庭の日』推進事業「親子を楽しむ!まなビー講座」と青少年育成町民会議とのコラボ企画

第1回 図書館夏まつりと親子を楽しむ!まなビー講座  
「スイミーの世界を作ろう」

令和7年8月2日(土)

大刀洗町立図書館と合同で「スイミーの世界を作ろう」と題した体験講座を開催しました。

前半は、事前に準備した赤と黒のクッキー生地を、魚の形をした抜き型を使って型抜きし、焼く講座。

後半は大きな模造紙に魚のかたちのスポンジでスタンプを押し、絵本「スイミー」の世界を再現するスタンプ遊びの講座。

クッキーづくりは型抜きするだけの簡単な物でしたが、「家でゆっくりお菓子作りをするのは難しいので楽しかった」との声を受けて、親子で楽しい体験ができたことが何よりと感じました。



毎月第三日曜日

## 家庭の日

家庭の日(毎月第三日曜日)には

- 家族みんなが顔をそろえよう
- 子どもの意見や考えを聞くようにしよう
- 家族みんなでスポーツやレクリエーションをしよう
- 家庭を離れている家族と連絡を取りあおう
- 子どものしつけや方法について考えよう

第2回 知って安心! 災害時のリアルな【困った】お話  
～ ヤバイ! OOOは我慢できないよ!～

令和7年9月6日(土)開催

毎年開催している防災講座、今回は最近よく話題になっている「災害時のトイレ」についての講座を開催しました。

災害時の避難所での「きれいを維持する理由と方法(衛生環境の重要性と維持方法)」や、「トイレを我慢してはいけない理由と対策(病気と予防方法)」、「簡易トイレの使い方実習」など、現実に即した内容となるように企画を慎重に組み立てたため、やや難しい内容でしたが理解を深めて頂けたようでした。



## 第4回 「食べて学ぶ！インドとスパイスのお話」

令和7年10月25日(土)開催

「食養生大学インドスパイススタジオ」の管理栄養士・井上亜耶氏を講師としてお招きして、インドとスパイスについての講座を開催しました。

前半は、たくさんの種類のスパイスを鶏のひき肉に混ぜこんで作る「シークカバブ」の調理と試食を行い、後半は事前に参加者から集めておいたたくさんの質問にこたえながら、井上氏が実際にインドで撮影した写真を見つつインドのリアルなお話を聞きました。

「シークカバブ」は思ったよりも子どもたちに好評で、遠足のお弁当に作っていきたいと話している子もいました。

作る手順も難しくなく、家でも作れそうとの声もありました。



## 第5回 「薬研でつくる！手作りおとそ教室」

令和7年12月20日(土)開催

佐賀県にある中富記念くすり博物館より講師をお招きし、お正月に向けておとそ「屠蘇散」を薬研でつくる講座を開催しました。

昔の薬を作るときに使う「薬研(やげん)」という道具を実際に使って材料(生薬)を粉状にすりつぶして作りました。

重たい薬研の円盤を一生懸命動かして、みんな真剣に作っていました。

今回の講座も大刀洗町立図書館とコラボ企画で、漢方薬や日本のしきたりについての本の紹介もしました。

普段触ることがない昔の道具を実際に使う体験は珍しく、皆さん満足そうでした。



## 編集後記

今年からドリウムまつりでの小学生の「少年の主張」が個人での発表から三人グループでのパソコン・プロジェクターを使つての発表へと変わりました。初めての事でちよつとした機材トラブルはありましたが、どのグループもしっかりと調べたの素晴らしい発表で感心してしまいました。

今年度も各校区の色々な行事にはたくさんの方のご参加、ご協力をいただきありがとうございました。これからも地域の皆様と力を合わせて元気でたくましく子ども達が育つ様に見守っていけたらと思います。(辻 啓子)

【編集委員長】		本郷校区	辻 啓子
【編集委員】		大刀洗校区	田中 翔
		菊池校区	近藤 和廣
		本郷校区	三原 敏裕
		大堰校区	日高真由美
		事務局	溝上 有紗
			佐田麻由美
			久保山亜聖
			高松 利幸
			穴井 努